

2021年3月期 第1四半期 ダイジェスト資料 (1)

【1Q実績及び通期計画】

(連結) (単位:百万円、%)

	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期						
		1Q実績	前年差	増減率(%)	通期見込み	期初計画	計画差	
連結	売上高	304,760	279,305	△ 25,455	△ 8.4	1,200,000	1,200,000	0
	加工事業本部	126,533	122,461	△ 4,072	△ 3.2	-	-	-
	食肉事業本部	188,905	179,941	△ 8,964	△ 4.7	-	-	-
	海外事業本部	64,792	55,827	△ 8,965	△ 13.8	-	-	-
	消去・調整	△ 75,470	△ 78,924	△ 3,454	-	-	-	-
	事業利益	11,074	9,230	△ 1,844	△ 16.7	37,000	34,000	3,000
	加工事業本部	2,377	2,739	362	15.2	12,300	11,500	800
	食肉事業本部	7,515	8,496	981	13.1	35,000	32,500	2,500
	海外事業本部	786	△ 107	△ 893	-	△ 1,000	△ 1,000	0
	消去・調整	396	△ 1,898	△ 2,294	-	△ 9,300	△ 9,000	△ 300
	税引前利益	12,344	13,035	691	5.6	30,000	27,500	2,500
	法人所得税費用	3,591	3,972	381	10.6	9,000	8,500	500
	親会社の所有者に帰属する当期利益	8,651	9,384	733	8.5	22,000	20,000	2,000

※2021年3月期より旧関連企業本部およびエクス・食肉一次加工品事業を加工事業本部へ統合したため、その事業利益を内訳表示しています。2020年3月期以前の数値は遡及修正をしています。(当社算定による、但し未監査。)

【設備投資額、減価償却費】

(連結) (単位:百万円、%)

区 分	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期			
		1Q実績	前年差	増減率(%)	通期計画
設備投資額合計	5,827	10,547	4,720	81.0	104,400
加工事業本部	2,519	4,388	1,869	74.2	27,900
食肉事業本部	1,579	1,683	104	6.6	31,800
海外事業本部	1,066	1,186	120	11.3	6,900
その他設備	663	3,290	2,627	396.2	37,800
減価償却費	8,032	8,388	356	4.4	34,400

【中期経営計画2020の進捗】

(単位:百万円)

区 分	2019年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 計画	中期経営 計画2020 計画
設備投資額合計	47,820	47,802	104,400	200,022
加工事業本部	27,097	16,995	27,900	71,992
食肉事業本部	13,767	11,735	31,800	57,302
海外事業本部	4,903	6,032	6,900	17,835
その他設備	2,053	13,040	37,800	52,893
減価償却費	22,417	33,038	34,400	89,855

【海外事業本部の内訳】

(単位:百万円、%)

	2020年3月期 1Q実績	売上高比(%)	2021年3月期					
			1Q実績	売上高比(%)	前年差	増減率(%)	通期見込み	
海外事業本部計	売上高	64,792	100	55,827	100.0	△ 8,965	△ 13.8	-
	外部顧客に対する売上高	33,116	51.1	26,244	47.0	△ 6,872	△ 20.8	-
	セグメント間の内部売上高	31,676	48.9	29,583	53.0	△ 2,093	△ 6.6	-
	事業利益	786	1.2	△ 107	△ 0.2	△ 893	-	△ 1,000
豪州	売上高	25,385	100	19,357	100.0	△ 6,028	△ 23.7	-
	外部顧客に対する売上高	20,883	82.3	15,806	81.7	△ 5,077	△ 24.3	-
	セグメント間の内部売上高	4,502	17.7	3,551	18.3	△ 951	△ 21.1	-
	事業利益	356	1.4	△ 413	△ 2.1	△ 769	-	△ 1,400
米州	売上高	20,056	100	21,141	100.0	1,085	5.4	-
	外部顧客に対する売上高	5,315	26.5	4,863	23.0	△ 452	△ 8.5	-
	セグメント間の内部売上高	14,741	73.5	16,278	77.0	1,537	10.4	-
	事業利益	79	0.4	742	3.5	663	839.2	400
アジア・欧州	売上高	20,013	100	15,826	100.0	△ 4,187	△ 20.9	-
	外部顧客に対する売上高	6,917	34.6	5,575	35.2	△ 1,342	△ 19.4	-
	セグメント間の内部売上高	13,096	65.4	10,251	64.8	△ 2,845	△ 21.7	-
	事業利益	668	3.3	△ 189	△ 1.2	△ 857	-	250

※2019年3月期第1四半期よりIFRSを適用しております。

※当社グループは、事業活動を通じて獲得する利益をより明確に示すことを目的として、2020年3月期の連結業績予想から従来の営業利益に替えて、事業利益(売上高から売上原価、販売費及び一般管理費を控除し、当社グループが定める為替差損益、国際会計基準(IFRS)への調整及び非経常項目を調整して算出)を開示致しております。□

【売上実績】

(単位:百万円、%)

品 種	2020年3月期 1Q実績	2021年3月期				
		1Q実績	前年差	増減率(%)	数量 伸長率(%)	通期見込み
ハム・ソーセージ	30,332	31,704	1,372	4.5	2.7	133,100
加工食品	55,713	53,045	△ 2,668	△ 4.8	△ 3.7	223,700
食 肉	179,247	162,267	△ 16,980	△ 9.5	△ 6.4	689,500
牛 肉	76,311	61,464	△ 14,847	△ 19.5	△ 14.0	267,600
豚 肉	55,643	56,547	904	1.6	△ 3.6	231,600
鶏 肉	41,677	39,750	△ 1,927	△ 4.6	△ 2.2	169,800
その他食肉	5,616	4,506	△ 1,110	△ 19.8	△ 32.1	20,500
水 産	18,162	15,842	△ 2,320	△ 12.8	△ 10.4	78,400
乳製品	8,506	8,000	△ 506	△ 5.9	△ 4.0	33,200
その他	12,800	8,447	△ 4,353	△ 34.0	-	42,100
合 計	304,760	279,305	△ 25,455	△ 8.4	-	1,200,000

2021年3月期 第1四半期 ダイジェスト資料(2)

【セグメント別事業利益見込みと事業利益増減計画差要因】

[連結計]

(単位:億円)

売上高	1Q実績	2Q見込み	上期見込み	下期計画	通期見込み	期初計画	差異
加工事業本部	1,225	-	-	-	-	-	-
食肉事業本部	1,799	-	-	-	-	-	-
海外事業本部	558	-	-	-	-	-	-
調整消去	△ 789	-	-	-	-	-	-
計	2,793	-	5,800	6,200	12,000	12,000	0

(単位:億円)

事業利益	1Q実績	2Q見込み	上期見込み	下期計画	通期見込み	期初計画	差異
加工事業本部	27	25	53	70	123	115	8
内)水産・乳製品とエキス・一次加工事業品	△ 3	△ 2	△ 5	6	1	△ 5	6
食肉事業本部	85	74	159	191	350	325	25
海外事業本部	△ 1	△ 7	△ 8	△ 2	△ 10	△ 10	0
消去調整	△ 19	△ 24	△ 43	△ 50	△ 93	△ 90	△ 3
合計	92	68	161	210	370	340	30

[加工事業本部]

(単位:億円)

事業利益	1Q実績	2Q見込み	上期見込み	下期計画	通期見込み	期初計画	差異
事業利益	27	25	54	70	123	115	8
増減要因内訳							
既存事業	11	5	16	△ 3	13	10	4
(外部要因:主原料等)	△ 3	△ 6	△ 9	△ 12	△ 21	△ 23	2
(内部要因①:数量拡大)	3	0	3	0	3	0	3
(内部要因②:改善活動)	11	11	22	9	31	32	△ 2
ベンダー、物流事業	△ 3	△ 0	△ 3	0	△ 2	△ 2	△ 1
水産・乳製品、エキス・一次加工品	△ 5	△ 7	△ 12	△ 8	△ 20	△ 27	6
その他	0	△ 1	△ 1	0	0	0	0
合計	4	△ 4	0	△ 10	△ 10	△ 19	9

[食肉事業本部]

(単位:億円)

事業利益	1Q実績	2Q見込み	上期見込み	下期計画	通期見込み	期初計画	差異
事業利益	85	74	159	191	350	325	25
増減要因内訳							
輸入食肉市況	△ 15	△ 1	△ 16	14	△ 2	△ 6	4
国産食肉市況	4	11	14	2	16	21	△ 5
国内ファーム事業	17	6	23	1	24	12	12
フード事業の伸長	△ 0	△ 6	△ 6	△ 3	△ 10	△ 19	10
その他	5	△ 4	1	1	2	△ 3	5
合計	10	7	16	14	30	5	25

[海外事業本部]

(単位:億円)

事業利益	1Q実績	2Q見込み	上期見込み	下期計画	通期見込み	期初計画	差異
事業利益	△ 1	△ 7	△ 8	△ 2	△ 10	△ 10	16
増減要因内訳							
豪州	△ 6	△ 8	△ 15	△ 15	△ 30	△ 30	0
ウルグアイ	△ 1	△ 1	△ 3	4	1	1	0
米州	7	△ 8	△ 2	△ 1	△ 3	△ 3	0
アジア・欧州	△ 9	△ 2	△ 11	5	△ 6	△ 6	0
その他	1	2	3	6	9	9	0
合計	△ 9	△ 18	△ 27	△ 1	△ 29	△ 29	0

※四捨五入表記のため、数値の和・差と合計が一致しない場合があります。

事業利益昨年差要因(1Q)

主カブランドの伸長に伴う売上単価上昇で粗利益率が改善したこと、経費の抑制により昨年実績を上回った。

副資材の羊腸価格の改善や原油価格下落に伴う燃油価格の改善があったものの、主原料価格が上昇した。  
国内工場製造のコンシューマ商品が伸長した。  
コンシューマ商品の伸長により、売上単価が改善した。  
コンシューマ商品の伸長に伴った物量増加による労務費が増加した。  
外食等の業務用商品が伸び悩み、売上が減少した。

事業利益昨年差要因(1Q)

国産鶏肉・豚肉の相場上昇とブランド食肉の販売伸長により、昨年実績を上回った。

業務用需要の減少により、ブラジル産鶏肉の販売が苦戦した。  
牛肉相場下落による仕入れ環境の好転した。また、内食需要拡大による鶏肉の販売数量が拡大した。  
国内の豚肉・鶏肉相場が堅調に推移した。  
販売部門は量販店向けの好調で増益だったが、物流部門は業務用を中心とした輸入品の需要減少で荷動きが停滞した。  
主に為替相場の影響により、昨年実績を上回った。

事業利益昨年差要因(1Q)

主に牛肉事業を手がける豪州・ウルグアイで苦戦した。  
降雨の影響により生体仕入れ価格が急騰した。また世界的な需給バランスが悪化したことで販売価格が下落した。  
主に世界的な需給バランスの崩れや、近隣国の通貨安により販売環境が悪化した。  
北米の加工食品事業の販売好調で増益となった。  
トルコにおいて、為替安による飼料価格の上昇と新型コロナウイルスによる外出禁止令などで鶏肉需要が減少した。